

## ほだかの体制

### ■ 4つのユニット

子どもたちには、できるだけ家庭的な雰囲気の中で育ててほしいと願っています。

その願いを反映して、ほだかでは、それぞれに玄関、キッチン、お風呂、トイレ、畳の部屋などがあるお家(ユニット)に子ども達は住んでいます。

### 4つのお家の名前

「ぞう」「くま」「うさぎ」「りす」です。  
ゆうりんの子ども達が名づけました。



児童養護施設と同じく、乳児院も家で一緒に生活する職員(担当職員)も決まっています。みなで擬似きょうだい、疑似家族として暮らしています。

乳児に対しても特定の職員と絆を作りやすくしています(愛着の形成)。特定の人と絆を作ることは、人を信頼し人格を形成する基礎となります。これは特に乳児期にとっては、非常に重要な課題となります。

里親支援や家族療法のほか、中高生への赤ちゃん体験などの取り組みも積極的に行っています。